

みずほCustomer Desk Report 2022/08/08号 (As of 2022/08/05)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	133.03
TKY 9:00AM	132.61	1.0247	135.90	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	135.52	1.0251	137.72	1.2157	0.6960
SYD-NY Low	132.53	1.0142	135.85	1.2168	0.6974
NY 5:00 PM	135.02	1.0196	137.45	1.2004	0.6870
	終値	(前日比)	終値	(前日比)	
NY DOW	32,803.47	76.65	日本2年債	▲0.1000%	▲0.0100%
NASDAQ	12,657.56	▲63.02	日本10年債	0.1600%	▲0.0100%
S&P	4,145.19	▲6.75	米国2年債	3.2278%	0.1810%
日経平均	28,175.87	243.67	米国5年債	2.9564%	0.1600%
TOPIX	1,947.17	16.44	米国10年債	2.8259%	0.1331%
ソコ日経先物	28,150.00	260.00	独10年債	0.9590%	0.1530%
ロンドンFT	7,439.74	▲8.32	英10年債	2.0495%	0.1630%
DAX	13,573.93	▲88.75	豪10年債	3.1160%	▲0.0430%
ハンセン指数	20,201.94	27.90	USDJPY 1M Vol	10.95%	▲0.29%
上海総合	3,227.03	37.99	USDJPY 3M Vol	10.79%	▲0.13%
NY金	1,791.20	▲15.70	USDJPY 6M Vol	10.34%	▲0.00%
WTI	89.01	0.47	USDJPY 1M 25RR	▲0.36%	Yen Call Over
CRB指数	281.04	▲0.17	EURJPY 3M Vol	12.04%	▲0.33%
ドルインデックス	106.62	0.93	EURJPY 6M Vol	11.76%	▲0.10%

【昨日の指標等】

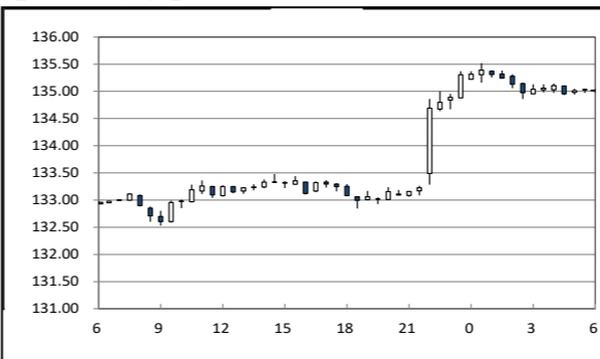
Date	Time	Event	結果	予想
8月5日	15:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	6月 0.4%	-0.3%
8月5日	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	7月 528K	250K
8月5日	21:30	米 失業率	7月 3.5%	3.6%
8月5日	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	7月 0.5%/5.2%	0.3%/4.9%
8月7日	12:01	中 輸出/輸入(前年比)	7月 18.0%/2.3%	14.1%/4.0%
8月7日	12:03	中 貿易収支	7月 \$101.26B	\$89.04B

【本日の予定】

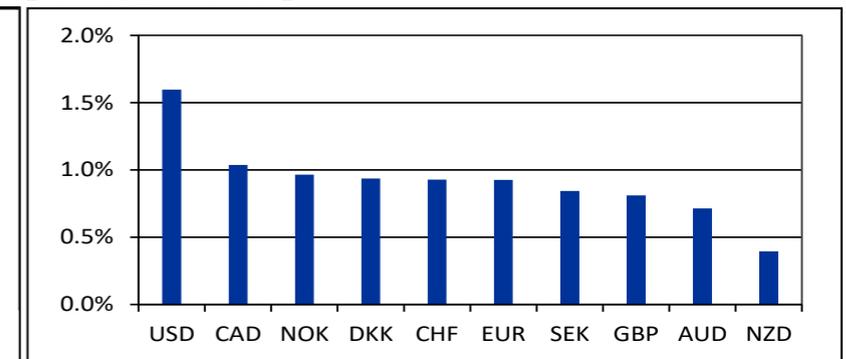
Date	Time	Event	予想	前回

東京	東京時間のドル円は132.61レベルでオープンし、緊張が高まっていた台湾情勢に大きな動きがなかったこともあり、ドル円はじりじりと買われ、一時133.48をタッチ。その後は米雇用統計の発表を控えて、133円前半で方向感に乏しく推移し、133.36レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、133.36レベルでオープン。米雇用統計を午後に控える中、米中の緊張もあってかやや円高ムード。一時132.85円まで売られるも、結局133.17レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	133.17レベルでNYオープン。注目の米7月雇用統計は弱い結果が見込まれていたものの、NFPは528K増と前回分と予想(250K)を大きく上回り、過去2か月分もそれぞれ上方修正。失業率も3.5%まで低下、平均時給も前月比0.5%、前回分も上方修正される等、どの角度から見ても強い結果となり、米金利が急伸する展開にドル円は50日平均線が観測されていた134.84を上抜けし、135円台へ乗せ135.52まで急伸する。午後は、週末を控え135円ちょうどを挟んだ推移が続き、135.02レベルでクロスした。一方、ユーロは米雇用統計発表を控え結果を見極めたいとの見方から、1.0230付近での推移が続き、1.0231レベルでNYオープン。朝方は強い米雇用統計結果を受けたドル買いに1.0142まで反落するが、強い雇用統計結果を受け米リセッション懸念が後退したことから、ユーロ円が137.72までサポートされる展開に、ユーロドルも1.0186まで値を戻す。午後は週末を控え積極的な取引は手控えられ、1.0180付近での調整中心の推移が続き、1.0196レベルでクロスした。(NY井上)

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	134.30-135.80	1.0130-1.0250	136-138.5

【マーケットインプレッション】

先週末のドル円は米雇用統計待ちの中、133円を挟んだ狭いレンジ内での推移。その後の注目の米雇用統計は非常に強い内容で、9月FOMCでの75bps利上げ織り込みが急上昇し、ドル円は135.52まで一気に2円以上の急騰する展開となっている。

本日のドル円は底堅い動きを見込む。米雇用統計は足元のリセッション懸念を払拭するに十分なものだった。インフレ抑制を最重要課題として取り組むFEDの姿勢にブレはなく、マーケットのハト織り込みが行き過ぎだった可能性は高い。今週の最大の注目材料は米7月CPIだが、引き続き高いレベルであれば、タカFEDの正当性を証明する形となり、ドル買いが進む可能性は高いと考える。米中間のヘッドラインは今のところ影響は限定的であるが、台湾をめぐるHLIに警戒しつつ、米CPIを見極める流れとなりそうだ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 伊藤・鈴木